

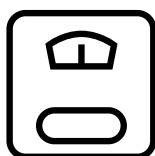
生食を実際につけてみましょう！

バリエーションを増やして快適な毎日へ
『水分量を調整する事で、お肉の弾力を楽しむ方法や、
スープのようにさらに水分を取れる方法を選択できます。』

1

体重を測ります

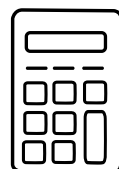
体重をはかり、給与量ガイドに従って、適正な給与量を調べましょう。



2

1日分を計算しましょう。（フリーズドライ）

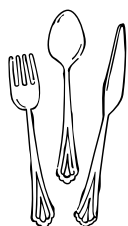
例：体重3kg $\times 7 \sim 10 = 21 \sim 30$ g
・シニアの場合は6～9gで計算



3

カットして1食分を計算します。

・1日分のグラム数を与える回数で割ってください。1食分に合ったサイズにカットして下さい。



4

フリーズドライと水（またはぬるま湯 ※）を混ぜます。

・お肉を食べる感覚＝フード量の2倍の水
＊飲み水を用意してください。

・水分補給＝フード量の3倍～3.4倍の水



体重	1日 (FD)	水分量 (お肉を食べる感覚)	水分量 (水分補給におすすめ)
3kg	21g～30g	FDの2倍程度の量	FDの3倍（通常）～3.4倍（スープ）の量
4kg	28g～32g	FDの2倍程度の量	FDの3倍（通常）～3.4倍（スープ）の量
5kg	35g～40g	FDの2倍程度の量	FDの3倍（通常）～3.4倍（スープ）の量
6kg	42g～48g	FDの2倍程度の量	FDの3倍（通常）～3.4倍（スープ）の量